



2019年12月12日

各 位

アイスタディ株式会社
代表取締役社長 中川 博貴
(証券コード:2345)東証第二部
(お問い合わせ先)取締役CFO 伊藤 大介
電話 03-6427-7380

当社の親会社名 株式会社カイカ
代表者名 代表取締役社長 鈴木伸
(証券コード:2315) JASDAQ

連結決算への移行ならびに連結業績予想のお知らせ

当社は、下記の理由により2019年10月期第4四半期から連結決算に移行いたします。また、連結決算への移行に伴い、2019年10月期(2019年1月1日～2019年10月31日)の通期業績予想を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結決算への移行理由および連結対象範囲

当社は、2019年10月1日付で株式会社エიმ・ソフト(以下、「エიმ・ソフト」といいます。)ならびにエიმ・ソフトの子会社の株式会社ネクストエッジ(以下、「ネクストエッジ」といいます。)を子会社化したことに伴い、2019年10月期第4四半期決算より連結決算へ移行することといたします。なお、会計監査人との協議の結果、エიმ・ソフトおよびネクストエッジの個別財務諸表については下表の通り、個別貸借対照表のみを連結対象としており、同2社の個別損益計算書は進捗期である2020年10月期第1四半期より連結対象として開示いたします。

2019年10月期の連結財務諸表の対象範囲

	アイスタディ	エიმ・ソフト	ネクストエッジ
個別貸借対照表	○	○	○
個別損益計算書	○	—	—

「○」 2019年10月期連結財務諸表の対象

「—」 2019年10月期連結財務諸表の非対象

2. 2019年10月期(2019年1月1日～2019年10月31日)通期連結業績予想について

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株あたり 当期純利益
通期業績予想	754	△4	△5	△18	円 銭 △4 67

3. 通期連結決算業績予想の概要

当社は、2019年10月1日付で株式会社エム・ソフト（以下、「エム・ソフト」といいます。）ならびにエム・ソフトの子会社の株式会社ネクストエッジ（以下、「ネクストエッジ」といいます。）を子会社化いたしました。これに伴い、同2社を取得するにあたり支出したアドバイザー費用約41百万円は、アイスタディ単体の個別貸借対照表では子会社株式（投資その他資産）として認識されておりますが、連結財務諸表上は連結財務諸表作成の会計基準に従い、販売費及び一般管理費に計上いたしました。加えて、アイスタディ単体においては、2019年10月期までに受注した案件の売上総利益の計上（約20百万円）が次期に持ち越しとなったことや、LMS事業における先行投資が計画対比で若干上振れたこと等の事象も重なり、連結損益計算書における営業利益につきましては△4百万円を見込んでおります。

なお、アイスタディ単体の個別財務諸表では当期純利益22百万円を見込み、この結果、利益剰余金は28百万円を見込みます。従い、配当予想は従来の3.5円から変更の予定はございません。

4. 当社の個別の業績予想について

当社グループは、次期以降についても連結業績予想を公表する方針であります。従いまして、2019年5月10日に開示した「通期業績予想の策定に関するお知らせ」における個別業績予想については取り下げます。

5. 今後の見通し

連結決算に移行した影響を踏まえた、2020年10月期業績予想については、2019年12月13日開示予定の連結決算短信および決算説明会にて発表する予定であります。

(注)本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上